



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei



2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ

地域を育み、
大陸をつなぐ

国際ロータリー会長
レイ・クリンギンスミス

国際ロータリー2720地区 中津平成ロータリークラブ

会長 青木 秀暢 幹事 土居 孝信 会報担当 二反田新一 熊谷 直輔 クラブ広報委員長 大和 裕武

例会日/毎週木曜日 12:30

例会場/グランプラザ中津ホテル TEL 0979-24-7111

事務局/〒871-0055 中津市殿町1383の1 中津商工会館2F

TEL 0979-22-9716 FAX 0979-22-9722

e-mail office@n-heisei.org

<http://www.n-heisei.org/>

第1005回例会 平成22年12月16日(木)

●本日の例会プログラム クラブフォーラム「会員増強について」

◎次回例会プログラム 12/22(水) 18:30 ～中津3RC合同
忘年例会 グランプラザ中津ホテル



前回(1004回例会)の記録

平成22年12月9日(木)

■ゲスト

木下光一ガバナー
(大分城西RC)
穴井二六分第一分區
ガバナー補佐(玖珠RC)
首藤治顕地区副幹事
(大分臨海RC)

■出席報告

会 員 数 25名
免 除 者 数 1名
対 象 者 数 25名
本日出席者 25名
欠 席 者 数 0名
出 席 率 100%

■ビジター なし

■前々回出席報告の修正

前々回欠席者 5名

メイクアップ 2名

欠 席 者 3名

修正出席率 80.00% → **87.50%**

●メイクアップ

永松(達)、熊谷(中津RC)

●欠席者

土居、小野

◎ロータリーソング 君が代、奉仕の理想

◎会長の時間 会長 青木秀暢

本日はガバナー公式訪問でございます。木下ガバナー、穴井地区ガバナー補佐、首藤地区副幹事のご訪問を会員一同心から歓迎申し上げます。木下ガバナーにおかれましてはノミニーとしての職務を引き継ぎ、熊本県内から大分県の日田、玖珠、中津の各クラブを訪問され、大変お疲れさまです。本日は我がクラブへ訪問いただき誠にありがとうございます。

本例会におきましてはガバナーアドレスを、そして13時45分からのクラブ協議会で当クラブの問題点や、今後の進路等につきましてご指導ご鞭撻頂く予定であります。お疲れのところ宜しくお願いします。

さて、私ども中津平成RCも先日1000回例会を迎えることが出来、大変喜んでおります。加えて今年度の行事も順調に進んでおり先月には姉妹交流事業も無事、仙台平成RC主宰にて終了しました。

しかし、ただ一つ気がかりな事は会員増強だと思います。



次週の例会でも、会員増強についての卓話が組まれています。なんとか会員増強をしたいと思っています。

最後にガバナー予定表を見まして驚きました。明日12月10日～18日まで約1週間あまり海外出張になっています。お体には気をつけて下さい。

◎幹事報告 幹事 土居孝信

●例会変更 豊前RC、杵築RC

●週報受理 宇佐、天草中央、仙台平成、八代、本渡、杵築(各RC)

●報告事項

- ・ニューオリンズ国際大会についてお知らせ
- ・ガバナーエレクト事務局から次年度資料作成のためのお尋ね
- ・地区大会参加の案内
- ・ロータリアン誌届く
- ・中津RC1月プログラム届く
- ・プロジェクター購入報告
- ・次回例会 総会ではなく通常例会。



「地域を育み、大陸をつなぐ」 “BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS”



2010～2011年度

中津平成週報

Rotary Club Of Nakatsu Heisei

2010～2011年度
国際ロータリー・テーマ地域を育み、
大陸をつなぐ

・本日記念撮影後、クラブ協議会開催

◎例会の食事メニュー

シュリンプカレーランチ



◎委員会報告

なし

◎ニコニコボックス 担当：会員増強委員会

○青木会長

木下ガバナー、穴井ガバナー補佐 両方からニコニコを頂いています。ありがとうございます。

○熊谷会員

木下ガバナーとは古いお付き合いです。歳もあまり変わりません。本日で70クラブ目の公式訪問との事、ご健康に留意してご活躍ください。

○永松（達）会員

私もガバナーとは仕事やJCで古くからのお付き合いです。ニコニコありがとうございました。

◎ガバナーアドレス

ロータリーの原点とは

RI第2720地区ガバナー 木下 光一



今年度私たちの地区では「原点を見つめて未来を拓く」というテーマを掲げました。それは世界の中で日本のロータリーが突出して会員が減っている、特に新しい会員が入らない、入っても定着しないで辞めてしまうという特徴的なことに対してどうするべきかと考えた結果です。ロータリーの本質を理解しないままに多くの会員が多いことが全ての原因ではないかと思っています。やみくもな会員増強もロータリーの本質を理解していないことが引き起こしたことです。ロータリーの本質を学んでその魅力を知っている会員はロータリーに相応しい人しか誘いません。ロータリーは本当に素晴らしい魅力を持った、まさにロータリーマジックと言われる私たちの宝物です。ここでその魅力を紐解いてみましょう。

ロータリーは人生哲学であると言われます。それは例会でよく歌われるロータリーソングの題名にもなっている「奉仕の理想」という言葉に凝縮されています。奉仕の理想とは何でしょうか？これ一つにしてもきちんと勉強しないとよくわかりません。奉仕の理想とは人や社会のニーズをよく汲み取って、そのニーズを理想的な形で満たすことです。そしてこれを生活の場すべてに適用して行くように努力しようということです。これがロータリーの目的であって綱領として謳われていることです。そしてここから四大奉仕の全てが導かれて来ます。ロータリーでは親睦が重視されていますがこれはあくまでも奉仕活動がより良く行われるためであり、親睦と奉仕は切り離すことができません。また共に行なう奉仕活動が親睦を更に深めることが含まれています。これを支えるのが職業分類制度です。職業分類制度によって会員はクラブに対しては自己の職業の代表者という責務を負うと同時にロータリアン以外の人に対しては日常の仕事を通してロータリー精神を普及する責務を負うことになります。

つぎにロータリーのモットーに行ってみましょう。

「もっとも良く奉仕する者、もっとも良く報いられる」という有名なものですが、これはA.F.Sheldonが成功している企業を研究して導き出したものです。常に他人の立場を考えて他人のためになるように尽くすサービスを実践している者が成功を収めるというもので、ここから職業は社会に奉仕する手段であるという考え方が出て来ます。

もう一つのモットー。「超我の奉仕」です。これも同じような意味を持っていますがより広く社会奉仕や国際奉仕に繋がって行くものです。

ロータリーはこのような人生や職業に関する基本的な考え方や態度について指針を与えてくれるものです。ここでもう一つロータリーの原点として忘れるわけには行かないものをお示します。これも有名な決議23-34と言われるものです。激しい論争の末、ロータリーとは何かをきっちりと定義したものなので是非読んで理解をして頂きたいと思います。要点をお話します。

- 1 ロータリーは一つの人生哲学であり、それは利己的な欲求と他人のために奉仕したいという感情の間の矛盾を調和させようとするものである。
- 2 ロータリークラブはそれぞれのロータリアンが独自の方法で事業、専門職業の代表としてロータリーの奉仕の哲学を受け入れ、次の4つのことを目指している人々の集りである。
 - a. 奉仕の理論が職業及び人生における成功と幸福の真の基礎であることをクラブとして学ぶこと。
 - b. その実際例をクラブで示すこと。
 - c. 各人が個人としてこの理論をそれぞれの職業及び日常で示すこと。
 - d. 個人として、またクラブとしてこの考え方を普及させ、ロータリアン以外にも普及を図ること。
- 3 ロータリアン個人もクラブも奉仕の理論を実践しなければならない。
- 4 各ロータリークラブは綱領に基づく活動を自主的に行なう権利を持っている。RIは各クラブに対して命令や禁止をすることはできない。

この決議23-34はロータリーの綱領に基づく全ての活動の指針であると同時にロータリーの奉仕の哲学を表す唯一の文書です。

ここまでお話しして来たことがロータリーの原点と考えています。この精神を学び、実践すればロータリーを自らになくしてはならないものとするロータリアンが増えることを確信しています。クラブで魅力的な例会が行われ、例会に参加することが待ち遠しい。地区に行っても素晴らしい人たちがいて、自分もあのようになりたいと思う。そこからこんな素晴らしいロータリーにあの人を誘おうというように自然に会員増強が進むことを期待しています。そういう例として我が2720地区から出られた元RI会長向笠先生が言われた言葉を紹介して私の話を終わりたいと思います。「私は自分をロータリークラブに誘ってくれた友人に本当に感謝しています。あんなに断り続けた自分をあきらめずに誘い続けてくれたことに。」そのご友人はきっとロータリーの何たるかをよく知っておられたのだと思います。

ありがとうございました。